

# 梅若会定式能

能三

輪

角当

行雄

素囃子



能菊慈童

松山隆雄



○狂言 福の神 三宅 右矩

三宅 近成  
高澤 祐介

平成三十年十二月十六日(日)  
午後一時開演(正午開場)

梅若能楽学院会館

自由席 七、〇〇〇円

(太鼓頭) (拍子不合)

角当 行雄  
素囃子

野口 能弘

國川 純  
小寺 佐七  
鶴澤洋太郎  
槻宅 聡

間前田 晃一

狂言  
福の神

三宅 右矩

高澤 祐介  
三宅 近成

後見 角当 直隆  
小田切康陽

梅若雄一郎  
山中 景晶  
山崎 正道  
梅若 基徳  
地謡 松山 隆之  
井上 燎治  
会田 山崎  
鷹尾 正道  
章弘 昇

仕舞

碓定 潜家

梅若長左衛門  
小田切康陽

山崎 友直  
山崎 直隆  
山崎 博通  
山崎 正道  
山崎 英貴  
地謡 土田 英貴

能  
菊慈童

松山 隆雄

則久 英志

亀井 実  
梶谷 英樹  
古賀 裕己  
藤田 貴寛

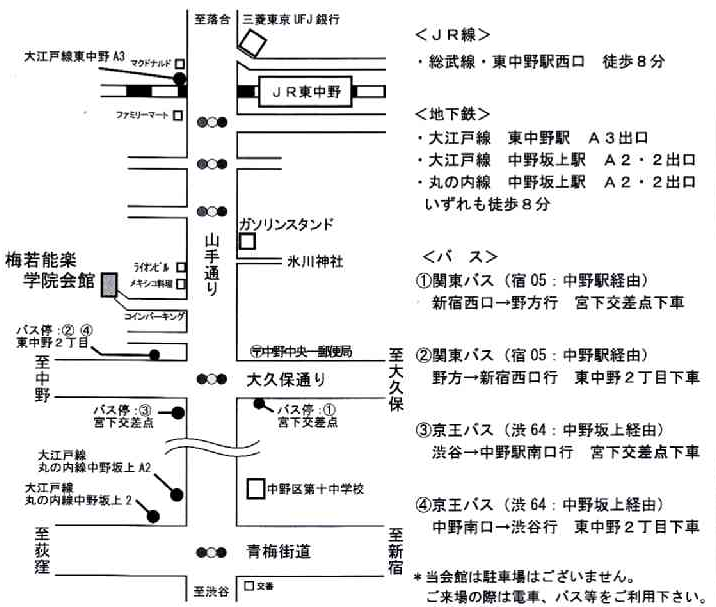
《休憩十五分予定》

後見 松山 隆之  
梅若長左衛門

鷹尾 雄紀  
井上 和幸  
河本 望  
山本 博通  
川口 晃平  
梅若 紀彰  
内藤 幸雄  
山中 迩晶  
地謡

『三輪』大和の三輪山麓に住む玄賓僧都の庵に毎日水を運ぶ里女がいる。女は読経を頼みつつ、秋深い夜に衣を恵んで欲しいと頼む。僧は衣を与え女に住家を聞くと三輪の杉のそばと答え女は姿を消す。三輪明神は杉が御神体で、僧は里の男から杉に衣が掛つていたと聞き三輪山を訪ねる。御神木にかかる衣は里女に与えたもので金文字の和歌が記されてあつた。そこに烏帽子に狩衣の姿の三輪明神が現れ、昔の三輪縁起を物語り神楽を舞う。そして天照大神が天の岩戸に御隠れになつた故事を示しその姿は夜明けとともに消え、僧は夢から覚める。

『菊慈童』支那の酈縣山(てっけんざん)の麗から薬水が湧き出ると聞かれた魏の文帝は、勅使を遣わされた。勅使がこの地に来て、菊の咲き乱れる山路に分けると、一つの庵に異様な者がいる。尋ねると、周の穆王に寵愛される慈童だとのことである。しかし今は文帝の世で、穆王の代からは既に七百年を経ている。しかも虎狼野干の凄む山中だから、化生の者に相違ないと思われる。ところが仙童は穆王から賜つたという枕を示して証明する。枕には「具一切功德慈眼視衆生、福寿海無量是故応頂礼」の二句の偈が添えてあり、この妙文を菊の葉に書きおくと、その葉は不老不死の薬となる。その葉を飲んでこのように長寿を保つたのだと仙童は言う。菊の葉に酔う仙童は舞樂を奏して勅使を慰め、なお霊泉を汲んでよると足もとは乱れるが、薬酒だから悪酔はしない。その薬酒を勅使にもすすめ、君の聖徳をたたえておのれの長寿を君に捧げ、仙童はまた菊をかきわけて山路の仙家へと帰ってゆく。



〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-14  
公益財団法人 梅若会 (梅若能楽学院会館)  
TEL : 03-3363-7748 FAX : 03-3363-7749

【観能チケットについて】

- 1. 自由席 7,000円 指定席 8,000円 学生席 3,000円
- 2. 賛助会員券 (定式能) および自由席をお持ちの方は 1,000円プラスで正面のご希望のお席を確保いたします。公演1週間前までにお電話にてご予約下さい。準賛助会員券 (梅流会) をお持ちの方は 1,000円プラスで自由席にてご観能可能です。
- 3. チケットはお電話、またはファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。TEL 03-3363-7748 FAX 03-3363-7749) なお梅若会ブログにても受け付けております。(パソコン: <http://umewakanoh.exblog.jp/> 携帯: <http://mblog.excite.co.jp/user/umewakanoh/>) 詳しくはお電話にてお問い合わせ頂るか梅若会ブログをご覧ください。
- 4. 都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。\*ロビーにて軽食、コーヒー、ケーキ等の販売がございます。皆様ご利用下さい。



助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会